

合理的耐震改修のために“どうしても必要な”達人診断の操作ガイド

～合板補強と共に金物補強しよう！～

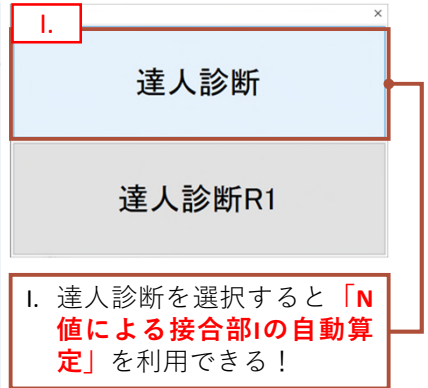
2022年3月 (株)えびす建築研究所

操作の流れ

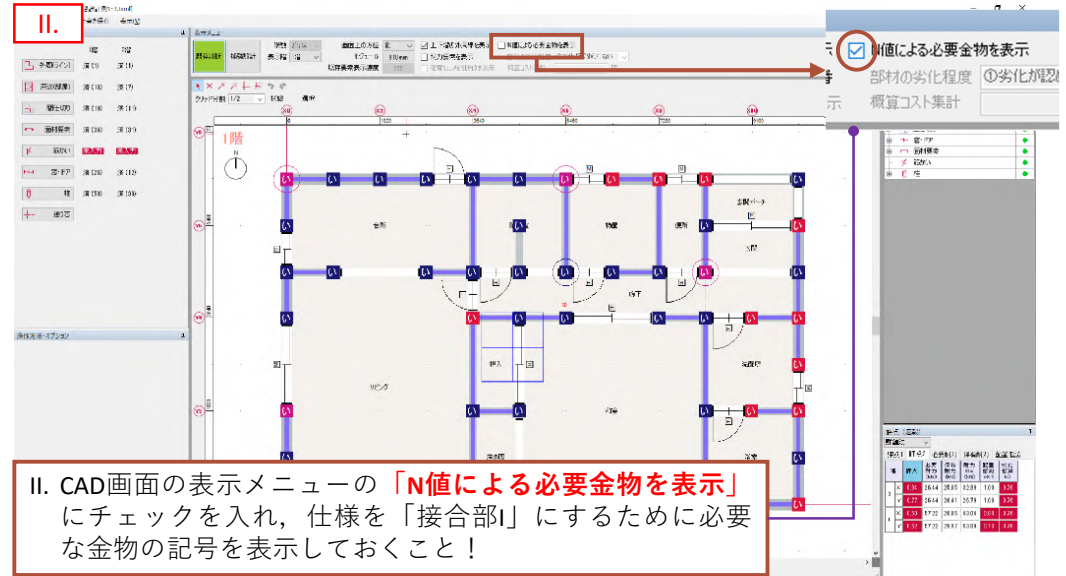
- I. 達人診断を起動し、プログラムの選択時に**達人診断**を選択（製品版の方のみ）
- II. 建物概要フォームおよびCAD入力画面にデータを入力して現況診断を実行
- III. 補強設計へ移行
- IV. 補強用面材を入力したら端部の柱を選択（必要なら複数の柱をまとめて選択）
- V. 操作方法・オプションの**基準法(告示1460号に適合)**にチェックを入れ、仕様を「**接合部I**」とする

※ 接合部の柱頭・柱脚リストで**必要金物未滿の金物**を選択すると仕様が「**接合部II**」となる

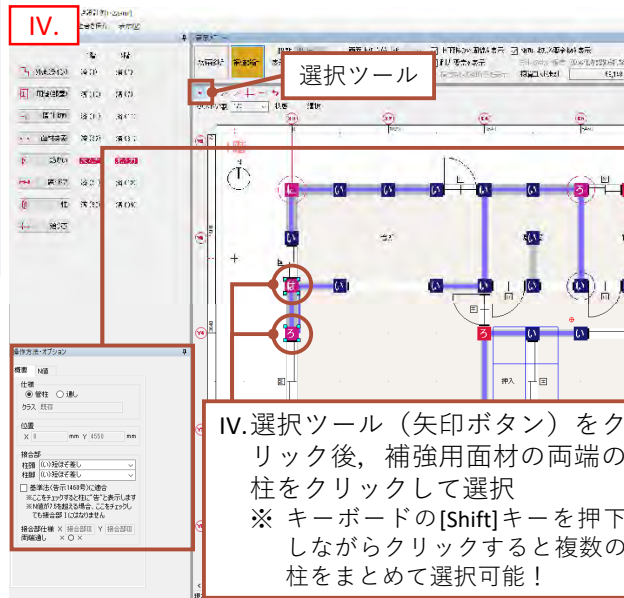
接合部補強を行うことで面材の耐力を向上させ、少ない壁枚数での補強設計が可能となる！



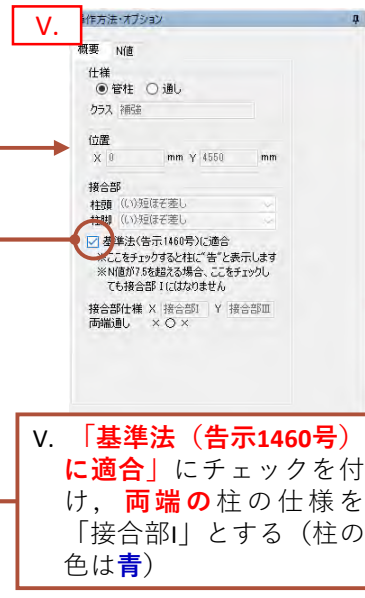
I. 達人診断を選択すると「**N値による接合部Iの自動算定**」を利用できる！



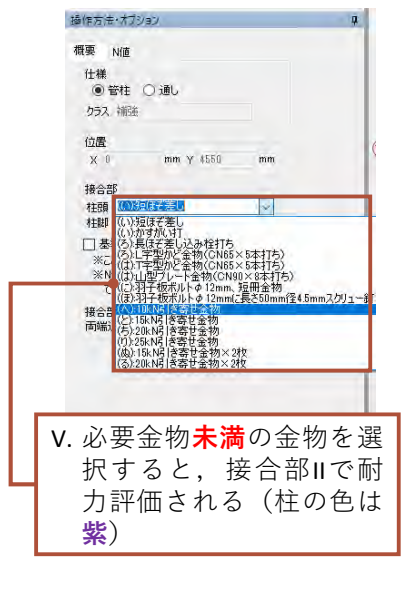
II. CAD画面の表示メニューの「**N値による必要金物を表示**」にチェックを入れ、仕様を「**接合部I**」にするために必要な金物の記号を表示しておくこと！



IV. 選択ツール（矢印ボタン）をクリック後、補強用面材の両端の柱をクリックして選択
※ キーボードの[Shift]キーを押しながらクリックすると複数の柱をまとめて選択可能！



V. 「**基準法(告示1460号)に適合**」にチェックを付け、**両端**の柱の仕様を「**接合部I**」とする（柱の色は**青**）



V. **必要金物未滿**の金物を選択すると、**接合部II**で耐力評価される（柱の色は**紫**）